

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月28日

上場取引所 東大

上場会社名 日本農産工業株式会社

コード番号 2051 URL <http://www.nosan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小野 浩二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 山根 恭一

TEL 045-224-3703

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	65,527	△14.8	1,159	190.2	1,067	52.1	434	△10.0
21年3月期第2四半期	76,937	—	399	—	701	—	482	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	3.57	3.57
21年3月期第2四半期	3.97	3.97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	58,677	21,843	37.2	179.02
21年3月期	60,269	21,854	36.2	179.58

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 21,822百万円 21年3月期 21,833百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	5.00	5.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	141,000	△8.9	2,700	85.3	2,500	45.7	1,400	63.6	11.51

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社 (社名)) 除外 — 社 (社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 129,309,932株 21年3月期 129,309,932株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 7,406,172株 21年3月期 7,727,039株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 121,706,916株 21年3月期第2四半期 121,581,890株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、昨年の金融危機発生以降の最悪期を脱し、企業収益の回復等の景気持ち直しの兆しが一部には見られてきたものの、依然として個人所得の回復の遅れや雇用不安等による消費低迷が続く中、引き続き厳しい状況となっています。

飼料・畜産業界においては、畜産飼料の全国流通量は前年同期をやや上回る状況で推移していますが、畜産物相場は全畜種にわたり前年同期に比べて安値で推移しました。

この様な状況のもと当社グループは、昨年4月よりスタートした中期経営計画「NBTstep.2」の達成に向け、引き続き研究開発、製造管理、品質管理などメーカーとしての基盤の強化及び製品の拡販に努め、お客様ニーズに応える製品の製造・供給に取り組んでいます。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は655億円（前年同期比85%）、営業利益は11億59百万円（前年同期比290%）、経常利益は10億67百万円（前年同期比152%）、四半期純利益は4億34百万円（前年同期比90%）となりました。

事業別の状況は、以下の通りです。

【飼料事業】

畜産飼料は、新製品の拡販への取り組み等により、販売数量は前年同期に比べ増加しましたが、昨年まで高騰していた原料価格が今年に入り下がってきている影響で、売上高は前年同期を下回りました。配合飼料価格安定基金積立金の異常積立分がコストアップとなりましたが、販売数量の増加及び原料コストの低減等により、収益は前年同期を上回りました。

水産飼料は、ウナギ用及び銀ザケ用が好調で、販売数量と売上高ともに前年同期を上回りました。

以上の結果、営業利益は9億4百万円となり、前年同期に比べ4億49百万円の増益となりました。

【食品事業】

「ヨーダ卵・光」の販売数量は、長引く景気悪化による個人消費低迷の影響で家庭用が減少しており、業務用はやや伸長したものの全体では前年同期を下回りました。

また、鶏卵農場子会社は、鶏卵相場の長期にわたる低迷により、引き続き厳しい経営環境となっています。

以上の結果、営業利益は87百万円となり、前年同期に比べ1億1百万円の減益となりました。

【ライフテック事業】

ペットフードは、子会社ペットラインの業績が好調を持続しており、主力商品の「キャネットチップ」をはじめ、メディファス、メディコートなどのプレミアムフードの販売も堅調に推移し、売上高及び利益とも前年同期を上回りました。また、馬用飼料も販売が好調で、販売数量、売上高及び利益とも増加致しました。

以上の結果、営業利益は8億77百万円となり、前年同期に比べ4億14百万円の増益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は前連結会計年度末に比べ、15億91百万円の減少となりました。これは主として受取手形及び売掛金の減少12億38百万円、投資有価証券の減少1億81百万円等によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末に比べ、15億79百万円の減少となりました。これは主として支払手形及び買掛金の減少2億73百万円、短期借入金の増加11億78百万円、その他の流動負債の減少27億73百万円等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は前連結会計年度末に比べ、11百万円の減少となりました。これは主として当四半期純利益4億34百万円、その他有価証券評価差額金の増加49百万円、配当金の支払6億7百万円等によるものです。

(連結キャッシュ・フローについて)

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は1億54百万円となりました。(前年同期使用した資金は19億円)これは主として売上債権の減少11億4百万円、たな卸資産の増加2億67百万円、仕入債務の減少2億73百万円等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は7億93百万円となりました。(前年同期使用した資金は3億65百万円)これは主として固定資産の取得による支出9億67百万円等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は3億42百万円となりました。(前年同期得られた資金は23億45百万円)これは主として借入金の増加9億45百万円、配当金の支払額6億3百万円等によるものです。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は3億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億95百万円の減少となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年4月28日に発表いたしました通期の業績予想の数値から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

重要性が乏しい連結会社においては税金費用の計算にあたり、税引前四半期純利益に前連結会計年度の税効果適用後の法人税等の負担率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しています。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	304	599
受取手形及び売掛金	23,296	24,535
商品及び製品	2,365	2,554
仕掛品	1,801	1,746
原材料及び貯蔵品	4,488	4,113
その他	2,975	3,200
貸倒引当金	△191	△326
流動資産合計	35,040	36,423
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,800	6,924
機械装置及び運搬具(純額)	4,442	4,345
土地	3,540	3,546
その他(純額)	639	605
有形固定資産合計	15,422	15,422
無形固定資産		
	385	403
投資その他の資産		
投資有価証券	5,327	5,508
その他	2,802	2,734
貸倒引当金	△300	△223
投資その他の資産合計	7,829	8,019
固定資産合計	23,637	23,845
資産合計	58,677	60,269

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,842	16,116
短期借入金	9,341	8,162
未払法人税等	536	485
その他	3,857	6,631
流動負債合計	29,578	31,397
固定負債		
長期借入金	6,344	6,138
退職給付引当金	332	312
その他	578	565
固定負債合計	7,256	7,017
負債合計	36,834	38,414
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,411	7,411
資本剰余金	2,804	2,767
利益剰余金	13,075	13,248
自己株式	△1,592	△1,657
株主資本合計	21,699	21,770
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	152	103
為替換算調整勘定	△29	△40
評価・換算差額等合計	123	62
新株予約権	20	21
純資産合計	21,843	21,854
負債純資産合計	58,677	60,269

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	76,937	65,527
売上原価	69,243	56,536
売上総利益	7,693	8,990
販売費及び一般管理費	7,294	7,830
営業利益	399	1,159
営業外収益		
受取利息	11	10
受取配当金	31	50
持分法による投資利益	327	—
その他	96	90
営業外収益合計	467	151
営業外費用		
支払利息	118	93
持分法による投資損失	—	127
その他	47	23
営業外費用合計	165	244
経常利益	701	1,067
特別利益		
固定資産売却益	43	1
受取保険金	90	—
特別利益合計	134	1
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	12	25
投資有価証券売却損	21	—
貸倒引当金繰入額	—	94
減損損失	—	8
特別損失合計	35	128
税金等調整前四半期純利益	800	939
法人税等	309	497
少数株主利益	8	8
四半期純利益	482	434

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	800	939
減価償却費	1,009	1,017
減損損失	—	8
長期前払費用償却額	57	59
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11	112
未払賞与の増減額(△は減少)	△221	△103
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8	19
受取利息及び受取配当金	△43	△61
支払利息	118	93
持分法による投資損益(△は益)	△327	127
固定資産売却損益(△は益)	△32	△2
固定資産除却損	15	27
投資有価証券売却損益(△は益)	21	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,311	1,104
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,430	△267
仕入債務の増減額(△は減少)	2,389	△273
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△521	△11
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,840	△2,680
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2	△27
その他	119	179
小計	△1,201	262
法人税等の還付額	—	405
法人税等の支払額	△698	△513
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,900	154
投資活動によるキャッシュ・フロー		
利息及び配当金の受取額	42	60
固定資産の取得による支出	△443	△967
固定資産の売却による収入	91	17
投資有価証券の取得による支出	△59	△1
投資有価証券の売却による収入	25	1
短期貸付金の増減額(△は増加)	146	76
長期貸付けによる支出	△211	△0
長期貸付金の回収による収入	324	124
その他の支出	△303	△128
その他の収入	22	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△365	△793

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,460	1,050
長期借入れによる収入	1,850	1,200
長期借入金の返済による支出	△1,067	△1,304
自己株式の取得による支出	△0	△10
自己株式の処分による収入	1	107
配当金の支払額	△781	△603
利息の支払額	△116	△96
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,345	342
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	79	△295
現金及び現金同等物の期首残高	484	599
現金及び現金同等物の四半期末残高	564	304

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）

（単位：百万円）

	飼料事業	食品事業	ライフテック事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	62,526	7,757	6,652	76,937	—	76,937
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	1,056	9	1,056	2,122	(2,122)	—
計	63,583	7,767	7,709	79,059	(2,122)	76,937
営業費用	63,128	7,578	7,246	77,952	(1,415)	76,537
営業利益	455	188	463	1,107	(707)	399

(注)1. 事業区分の方法

事業区分は、製品の種類・性質及び市場の類似性を考慮して区分しています。

2. 各事業の主な製品及び事業内容

- (1)飼料事業・・・鶏用飼料、豚用飼料、牛用飼料及び魚用飼料
(2)食品事業・・・ヨード卵、ヨード卵関連商品、鶏卵
(3)ライフテック事業・・・ペットフード、馬用飼料、実験動物及び実験動物用飼料、バイオ関連商品

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）

（単位：百万円）

	飼料事業	食品事業	ライフテック事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	51,343	7,129	7,053	65,527	—	65,527
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	827	6	936	1,771	(1,771)	—
計	52,171	7,136	7,989	67,298	(1,771)	65,527
営業費用	51,267	7,049	7,112	65,429	(1,062)	64,367
営業利益	904	87	877	1,868	(708)	1,159

(注)1. 事業区分の方法

事業区分は、製品の種類・性質及び市場の類似性を考慮して区分しています。

2. 各事業の主な製品及び事業内容

- (1)飼料事業・・・鶏用飼料、豚用飼料、牛用飼料及び魚用飼料
(2)食品事業・・・ヨード卵、ヨード卵関連商品、鶏卵
(3)ライフテック事業・・・ペットフード、馬用飼料、実験動物及び実験動物用飼料、バイオ関連商品

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）及び

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店が無いいため、記載していません。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）及び

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、その記載を省略しました。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。